

緑のセンターだより

NO. 153 平成 23 年 12 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

カラマツ

マツ科カラマツ属 *Larix kaempferi*

カラマツといえば北原白秋の「落葉松」の詩を思い出される方もあろう。カラマツは、信州カラマツ、富士マツ、日光マツなどと呼ばれ、天然分布は本州中央部に限られ、信州（長野県）を中心に日光、尾瀬、浅間山、八ヶ岳、富士山、木曾御岳などです。北限は宮城県南部、南限は静岡県下の南アルプスといわれていますが、古くから植林されていたため不確実な点も多いようです。カラマツ属は北半球だけに約 10 種 4 変種があり、アジアに 5 種 4 変種、ヨーロッパに 2 種、北米に 3 種分布し、日本には 1 種のみ自生しています。北海道でよく見られるカラマツ、グイマツの自生はなく、すべて植栽されたものです。

北海道では信州カラマツ、落葉松、本州カラマツ、内地カラマツなどの呼称のほか単にカラマツと呼ばれています。また、漢字で「唐松」と書き、中国の唐絵のマツに似ていることからといわれています。

属名の *Larix* は「樹脂に富む」を意味するケルト語の *Lar* に由来し、*kaempferi* は、日本にもきたことのあるドイツ人の博物学者 KAEMPFER の名をとったものです。

国産針葉樹の中で落葉針葉樹はカラマツ 1 種のみで、樹高 30m に達し、高木種で自生地日光や尾瀬では胸高直径が 1m を超える巨木も見られ、信州の天然木は「テンカラ」（天然カラマツの略）と称され重宝されています。

枝に短枝と長枝があり、短枝には針状のやわらかい葉が 20～30 枚束生して菊花状につき、長枝には 1 枚づつらせん状に互生し、短枝の葉は短く、長枝の葉は長いのが特徴です。また、雌雄同株で新葉が開くと同時に、短枝に雄花と雌花をつけます。雌花の基部には葉をつけますが、雄花の基部には葉をつけず雄花だけ咲きます。

北海道に自生しないカラマツは今や主要な造林樹種として全道各地に植えられています。官営で導入されたのは、明治 13 年（1882）以降といわれ、円山養樹園で養苗され、明治 15 年秋に「落葉松三年一本の価六厘」のキャッチコピーで頒布した記録があり、円山公園のカラマツの古木はここらに植えられたものと見られます。民間では明治初年に望郷樹として道南の屋敷に植えられた記録があります。明治 22 年には道庁でカラマツ苗を無償で交付し、造林を奨励したので民有林を中心に全道に広まりました。一方ヨーロッパには北海道よりも 20 年ほど前にドイツ、イギリス、デンマーク、スウェーデンなどの各国で試植され好評を得たようです。

カラマツ造林の大敵は野ネズミ（エゾヤチネズミ）による食害で、同じカラマツの仲間カラフト、千島、カムチャツカに自生するグイマツは生育は劣るが被害が少ないことから、これらの交配種が作出され、ネズミに強く生育も良い品種が普及しています。

北原白秋の「落葉松」に代表されるように、春の芽吹き、新緑、夏の緑風、秋の黄葉そして冬枯れの裸木に降り注ぐ雪などが美しく、詩情に富んでいて詩や歌によく歌われています。

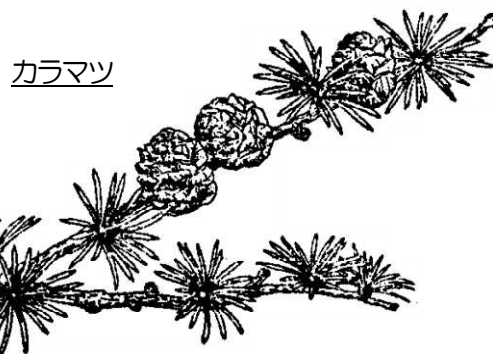
から松の 黄葉吹雪に 鮭汲める 恩地樺雪

また、カラマツは景観的にも優れていて、かつて鉄道三景の一つといわれた狩勝峠のカラマツ林や十勝地方の耕地防風林、そして標茶、厚岸町にまたがるベカンベウシ川流域に昭和 32 年から造林されたパイロット・フォレスト 8000ha のカラマツ林は壮観です。

豊平公園は林業試験場の跡地とあって数種のカラマツ属を見ることができます。よく観察して見比べて下さい。

(M.S)

＜参考文献＞「世界の植物」・「北方植物園」朝日新聞社、「有用樹木図説」誠文堂新光社、「からまつ」北方林業叢書 8.9



カラマツ



グイマツ

イラスト：鯨島淳一郎

12月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
※ 12/29～1/3 は年末年始のため休館します。

◆エラチオール・ペコニア 開花中の管理

エラチオール・ペコニアの花芽は、一定の「短日」で作られます。その後、日当たりの暖かい環境で花芽が発達して、間もなく開花に至ります。

ここでは、開花株の管理のポイントをあげてみました。1日でも長く、春まで開花を楽しむために、次のような管理を心がけてみましょう。

ポイント1 置き場所

温度 日中 20～25℃、夜間 15～18℃をめどに、夜間は温度が保てる部屋の中央部に移動します。1日中窓辺に置くときは、冷氣にあてないよう夜間は厚手のカーテンを引くか、鉢全体をビニール袋で覆って保温するのも良いでしょう。

湿度 暖房の効いた部屋などでは空気乾燥のため花卉が傷みます。温風が直接当たらないよう気を配ることや、保湿を心がけましょう。

光線 日中はできるだけ日光を当てますが、直射光では葉焼け（花卉焼け）を起こしやすいのでレースのカーテン越しか、窓近くの反射光が当たる程度でも明るければ大丈夫です。

ポイント2 水やり

最低温度が 15℃以上あれば、鉢の表土が乾きはじめたらたっぷり与えます。（余り水は必ず捨てて受け皿に水気を残さない）。鉢の上からの水やりは、出来るだけ茎葉にかからないよう気をつけます。また温度が低い時は、水やりを極力控えるようにします。

ポイント3 肥料

液体肥料を薄めに（1,500 倍くらい）月 2～3 回与えますが、温度が低い場合、与える間隔を開けるようにします。肥料が濃かったり頻繁に与え過ぎると、花芽がつきづらくなったり蕾のまま落下してしまうことがあるので注意しましょう。

ポイント4 花がら摘みと切り戻し

株の状態をたえずチェックし、枯れた花は早めに摘み取り、大きい古い葉も取り除いて風通し良くし光が中まで当たるようにすると、病害の発生も少なくなり、虫や病害の発見もスムーズになり管理がしやすくなります。花は茎を伸ばしながら順次上へと咲き続けますから、伸びすぎた茎は適宜切り戻し、株の更新を図ります。

◆ヒアシンスの水栽培

1. 始める時期

ヒアシンスを水栽培で冬から春に咲かせるには、10 月中・下旬～12 月に始めるとよいでしょう。

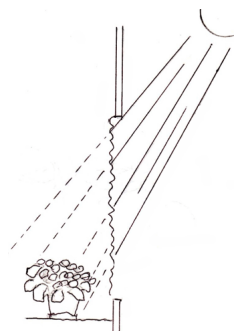
気温が高いと根腐れの原因になりますので、寒くなってからにします。

2. 準備するもの

(1) 球根

ヒアシンスの球根には、ダッチヒアシンスとローマンヒアシンスという種類がありますが、水栽培にはダッチ系が向いています。花色は紫、青、赤、黄、白色などがあり、香りがするものもあります。

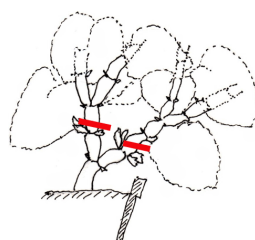
球根は、できるだけ大きく、ずっしりとしたもので、球周 14～16cm 程度で根が出てくる部分が清潔で元気そうなものを選びます。



柔らかい光で



水やりは株元に



切り戻して更新



花がら摘みは
早めに



(2) 容 器

水栽培用の容器は数種市販されていますが、ガラスの空ビン、ペットボトルを切ったものを利用して十分栽培できます。

(3) きれいな水

3. 水栽培の順序

(1) 容器に、発根部が水面にわずかに触れる程度に水を入れ、球根をのせます。球根を水につけ過ぎて、腐らないように注意します。

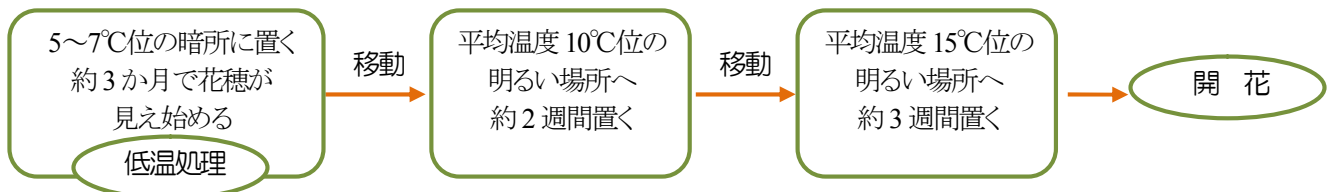
(2) 5～7℃くらいの暗い所に置き、発根を促します。ダンボールの箱を利用してよいでしょう。時々確認して根が伸びてきたら、水面と球根の間を 1～2 cm あけ、空気に触れさせます。

(3) 水の交換

はじめの 1 か月は 1 週間に 1 回、1 か月後からは 1 か月に 1 回を目途に行います。水温が 20℃ 以上になると、水が濁りますので、早めに交換します。

(4) 温度の上げ方

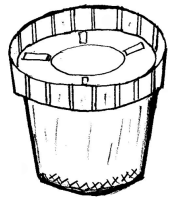
根が長く伸びると同時に萌芽し始めますが、葉が伸び、花穂がのぞき始めたら、明るく暖かい場所へ移します。ただし、開花を急ぐあまり急に温度を上げるのは禁物ですので、以下のように少しずつ温度を上げていきましょう。



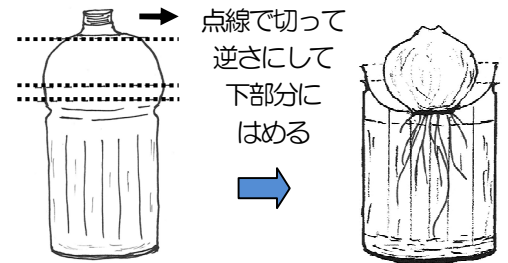
※ 7℃から急激に 25℃もの高温にした場合、葉だけが伸びて花穂は成長しません。緩やかに温度を上げてできた水栽培は、茎がよく伸びて、花穂が葉より抜き上がって咲きます。



ガラス製
プラスチック製



プラスチック製



ペットボトルで手作り

園芸用土とその使い方 —その4—

最終回は基本用土、改良用土を自分で作る培養土の例の中でも植物や根の好む条件別のブレンドの基本を説明します。これらはあくまでも「基本」ですので、品種や生育環境によりアレンジしてご自身の育てやすいブレンドレシピを作成してください。No.150号で説明した良い土の条件も参考にしてください。

〔 ① 通気性 ② 排水性 ③ 保水性 ④ 保肥性
⑤ 有機物を含む ⑥ 適度な重さ ⑦ 適度な酸度 ⑧ 清潔 〕 があること

(1) 根が空気を好む植物

・・・「赤玉土 6＋腐葉土 3＋パーライト 1」または「赤玉土 6＋腐葉土 3＋もみ殻燐炭 1」
シャコバサボテンなどは通気性を好みます。通気性、排水性をよくするためにパーライトを加えます。

(2) ツツジ、サツキ、シャクナゲ

・・・「鹿沼土 7～6＋ピートモス 3～4」酸性土を好みます。サツキは鹿沼土単用でもよい。

(3) 一般草花・・・「赤玉土 5＋腐葉土 3＋火山礫 1＋バーミキュライト 0.5＋パーライト 0.5」

(4) 観葉植物・・・「赤玉土 5＋腐葉土 2＋火山礫 1＋バーミキュライト 1＋パーライト 1」

(5) 松柏類・・・「赤玉土 5＋硬質鹿沼土 3＋桐生砂 2」

※ 市販の培養土の利用

「基本の用土」、「改良用土」をブレンドするのが一番ですが、「インスタント」というべき市販の培養土「クンシランの土」、「サボテンの土」、「シンビジウムの土」などの利用も便利です。

12月～1月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyoHira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
クリスマス展	12月6日(火)～12月25日(日)		豊平公園花とハーブの会	入場無料
クリスマスリース講習会				
自然素材でリースを作ろう	12月10日(土)	10:00～	11/11(金)～	1,500円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
クリスマスディスプレイ	11月22日(火)～12月11日(日)			温室入館料130円
みかんなどの柑橘展	24年1月11日(水)～2月5日(日)			〃

その他の公園

イベント	内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
ミュンヘンクリスマス市		11月25日(金)～12月24日(土)	会場：大通公園	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 実行委員会 211-2032
ホワイトイルミネーション		11月25日(金)～12月25日(日)		札幌観光協会 211-3341
ミニ門松づくり講習会		12月17日(土) 10:00～12:00	要申込:800円	前田森林公園 681-3940
クリスマスグッズを作ろう!		12月17日(土)、18日(日) 11:00～15:00	直接会場へ体験ごとに有料	農試公園 615-3680
スノーワールド オープン!		12月23日(金祝)	駐車料金有・イベントは体験により有料	滝野すずらん丘陵公園 592-3333
たきのdeクリスマス		12月23日(金祝)～25日(日) 10:00～		
モエレのホワイトクリスマス		12月23日(金)～25日(日)	直接会場へ	モエレ沼公園 790-1231
サケ皮で靴作り	1回目皮はぎ12月10日(土)	午前の部 9:30～	要申込(Eメール):50円 両日参加できる方対象 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	さけ科学館 582-7555
	2回目加工12月24日(土)	午後の部 13:30～		
かじさやか切り絵展～溪流の華		12月21日(水)～24年1月20日(金)	直接会場へ	さけ科学館 582-7555
川下公園スノーフェスティバル		24年1月11日(水)～1月15日(日)	直接会場へ	川下公園 879-5311
子りす工房おとなの日 「大きな木の動物」		24年1月12日(木) 10:00～、13:30～	要申込:1,000円	西岡公園 582-0050



12月23日(金祝)
OPEN!!

滝野すずらん丘陵公園

歩くスキー
チューブそりすべり

前田森林公園

スノーラフティング
歩くスキー

24年1月上旬
OPEN!!

川下公園

歩くスキー

農試公園

歩くスキー
わいわいタイヤチューブ

雪の状況により開始日が変更になることがあります。
詳細は各公園管理事務所へお問い合わせください。

12/29～1/3は年末年始のためお休みします。1/4(水)より通常通り開館します。